

# ULTRAVOICE UV1

Audiophile Mic Preamplifier, Voice Processor and  
192 kHz USB Audio Interface

JP

JP

## 安全にお使いいただくために



## 注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



## 注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



## 注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



## 注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



## 注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カート

を使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蠟燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

## 法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

## 限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 [community.musictribe.com/pages/support#warranty](https://community.musictribe.com/pages/support#warranty) にて詳細をご確認ください。



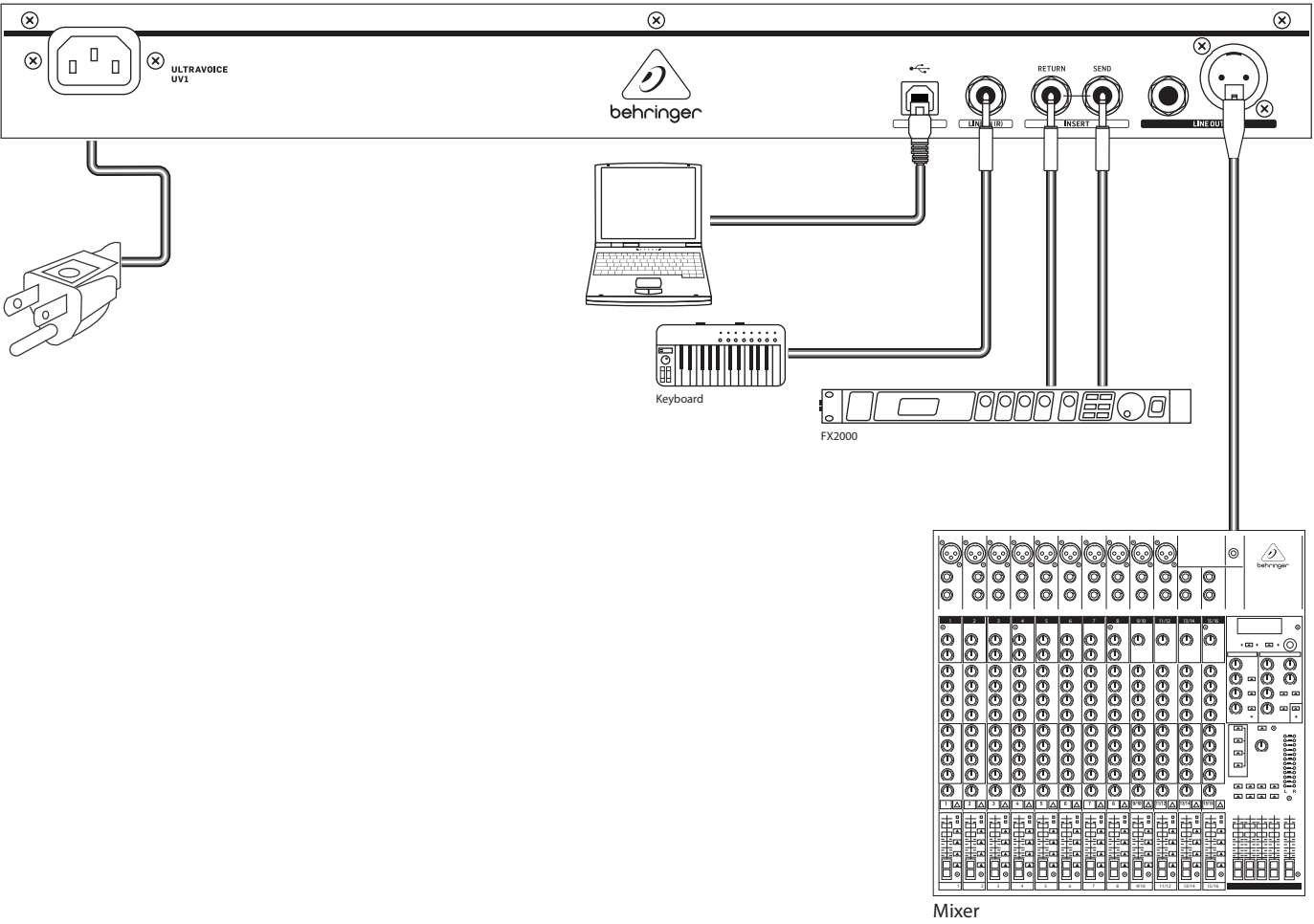
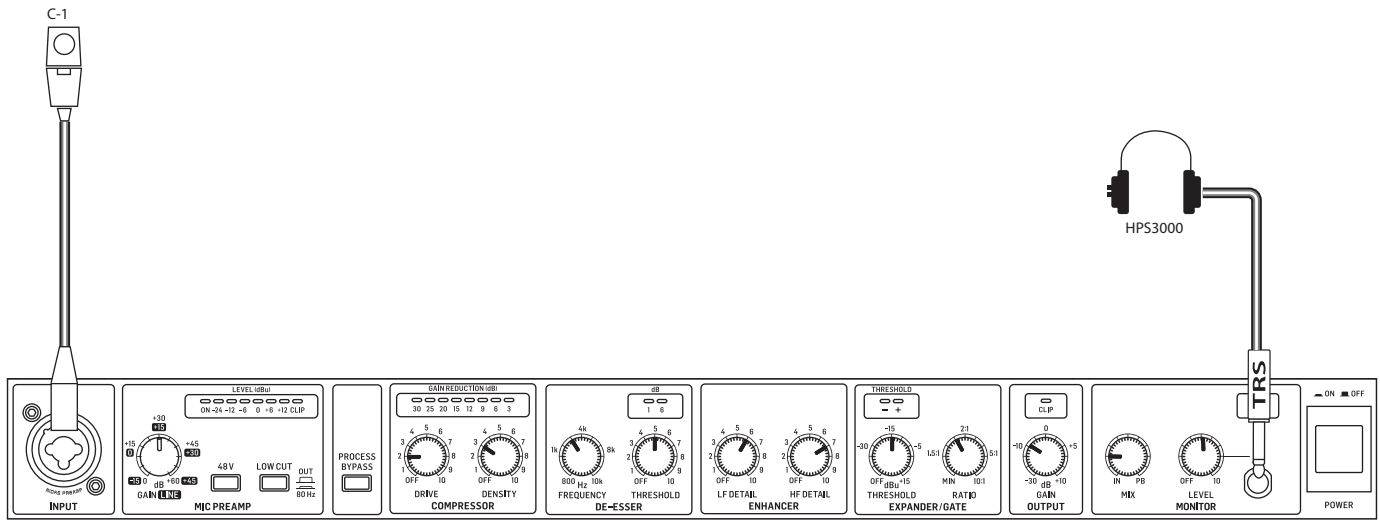
## 警告

装置を設置または操作する前に、電気および安全に関する情報について、外部下部エンクロージャーの情報を参照してください。

# ULTRAVOICE UV1 Hook-up

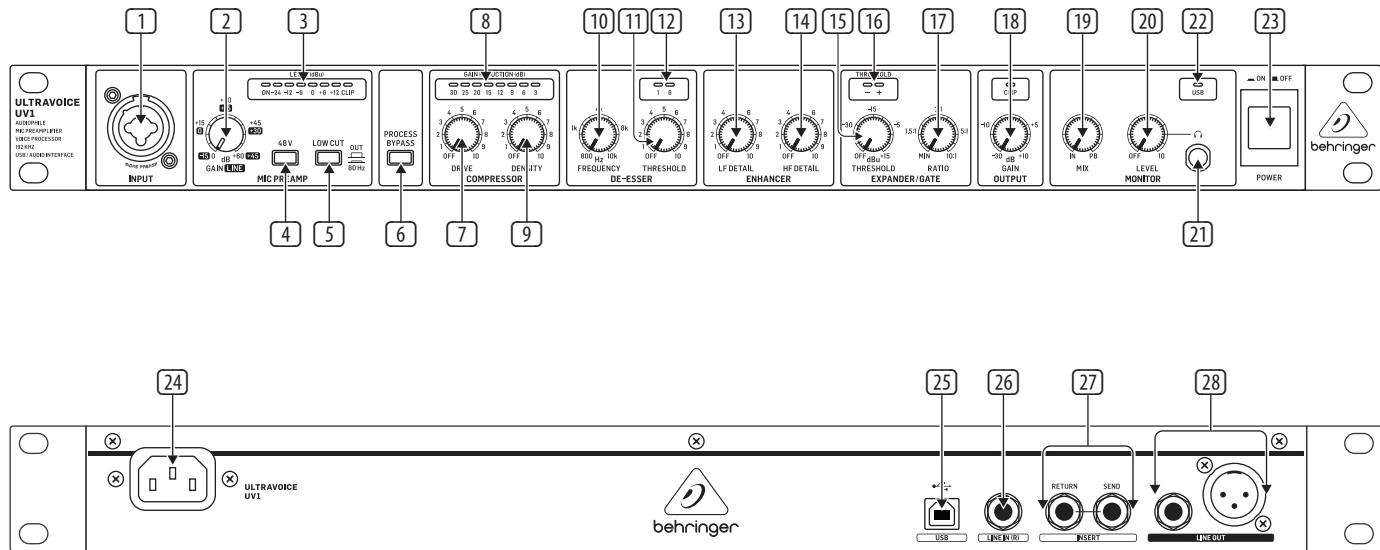
JP

## ステップ 1: フックアップ



# ULTRAVOICE UV1 コントロール

## ステップ 2: コントロール



- ① **INPUT (入力)** – XLR バランスケーブルや ¼ インチケーブルで、マイクロフォンやその他のラインレベルソースを接続します。
- ② **GAIN (ゲイン)** – 入力ゲインを、隣接するレベルメーターが時々黄色く点灯する程度に調節します。
- ③ **LEVEL METER (レベルメーター)** – メイン入力の信号レベルを表示します。
- ④ **48 V** – コンデンサーマイクロフォンを使用する際は、48 V ファンタム電源を有効にします。
- ⑤ **LOW CUT (ローカット)** – 80 Hz 以下の低周波を除去します。
- ⑥ **PROCESS BYPASS (プロセスバイパス)** – このスイッチを押すと、信号は、コンプレッサー、ディエッサー、エンハンサー、エクスパンダー/ゲート、および出力ゲイン部をバイパスします。エフェクト処理した信号と原信号を聴き比べ、効果を確認する際に使用します。
- ⑦ **COMPRESSOR DRIVE (コンプレッサードライブ)** – コンプレッサーに入力される信号レベルを制御して、全体的なゲインリダクションの量を調節します。入力レベルが低い状態で使用すると、Drive コントロールによって、ホットシグナルへのゲイン付加は目立たせずに、かなりのゲインを付加できます。
- ⑧ **GAIN REDUCTION (ゲインリダクション)** – コンプレッサーでの減衰量を表示します。
- ⑨ **COMPRESSOR DENSITY (コンプレッサーデンシティ)** – コンプレッサーのリリースタイムを調節します。低めの設定では、ボーカルに適した、ゆっくり目でスムーズな効果になります。高めの設定では、パーカッシブなソースに適した、速くタイトなリリースとなります。
- ⑩ **DE-ESSER FREQUENCY (ディエッサー周波数)** – 可変フィルターの周波数を、ボーカルアプリケーションでは通常 4-8kHz に設定します。
- ⑪ **DE-ESSER THRESHOLD (ディエッサーレスショルド)** – 入力レベルに相關したディエッサー効果の感度を調節します。
- ⑫ **DE-ESSER LED (ディエッサー LED)** – 歯擦音の減衰量を表示します。緑色は 1 dB、赤色は 6 dB の減衰を意味します。
- ⑬ **ENHANCER LF DETAIL (エンハンサー LF ディテール)** – 80 Hz のブーストと 250 Hz のカットを同時におこないます。
- ⑭ **ENHANCER HF DETAIL (エンハンサー HF ディテール)** – 入力信号にリアルタイムで応答し、EQ レスポンスを適用する高周波エンハンスを、信号に対し適用する程度を決定します。
- ⑮ **EXP/GATE THRESHOLD (EXP /ゲートスレショルド)** – ゲートが開き、信号を出力へパススルーするレベルを調節します。
- ⑯ **EXP/GATE LED (EXP /ゲート LED)** – 赤色 LED は信号がスレショルド以下の際に点灯し、緑色は信号がスレショルドを超えている時に点灯します。
- ⑰ **EXP/GATE RATIO (EXP /ゲート比率)** – 信号がスレショルド設定以下に減衰した際に、適用する減衰量を設定します。低い比率にすると、高いスレショルド設定でも比較的、ポンという音の発生を防ぐことができます。
- ⑱ **OUTPUT GAIN (出力ゲイン)** – 出力レベルを調節します。クリップ LED が点灯する場合は、歪みを避けるためノブの設定を下げてください。
- ⑲ **MONITOR MIX (ミックス)** – ダイレクト音と USB 接続からのプレイバックのブレンド具合を調節します。反時計回り方向いっぱい位置ではダイレクト信号のみ、時計回り方向いっぱい位置では USB プレイバックのみとなります。
- ⑳ **MONITOR LEVEL (モニターレベル)** – ヘッドフォン音量を調節します。
- ㉑ **HEADPHONES OUT (ヘッドフォン出力)** – ステレオヘッドフォンを接続します。
- ㉒ **USB LED** – USB 接続に成功すると点灯します。
- ㉓ **POWER ON/OFF (電源オン/オフ)** – ユニットの電源をオン/オフします。
- ㉔ **AC INPUT (AC 入力)** – 付属の電源ケーブルを接続します。
- ㉕ **USB IN/OUT (USB 入出力)** – USB ケーブルでコンピュータを接続し、ステレオ信号の送受信をおこないます。Windows 用の USB ドライバーは Behringer.com にてダウンロードいただけます。Mac OS ではドライバーは不要です。
- ㉖ **LINE IN (ライン入力)** – ¼ インチ TS ケーブルでラインレベルソースを接続します。信号は USB インターフェイスに移送されますが、前面パネルのプロセッシング類はいずれも信号に作用しません。
- ㉗ **INSERT SEND/RETURN (インサートSEND /リターン)** – 外部プロセッサー信号を、信号経路のマイクプリアンプ後、プロセッシング部の前にルーティングします。
- ㉘ **LINE OUT (ライン出力)** – XLR ケーブルまたは ¼ インチケーブルで、出力信号をアンプまたはミキサーに送信します。

# UV1 はじめに

JP

## ステップ 3: はじめに

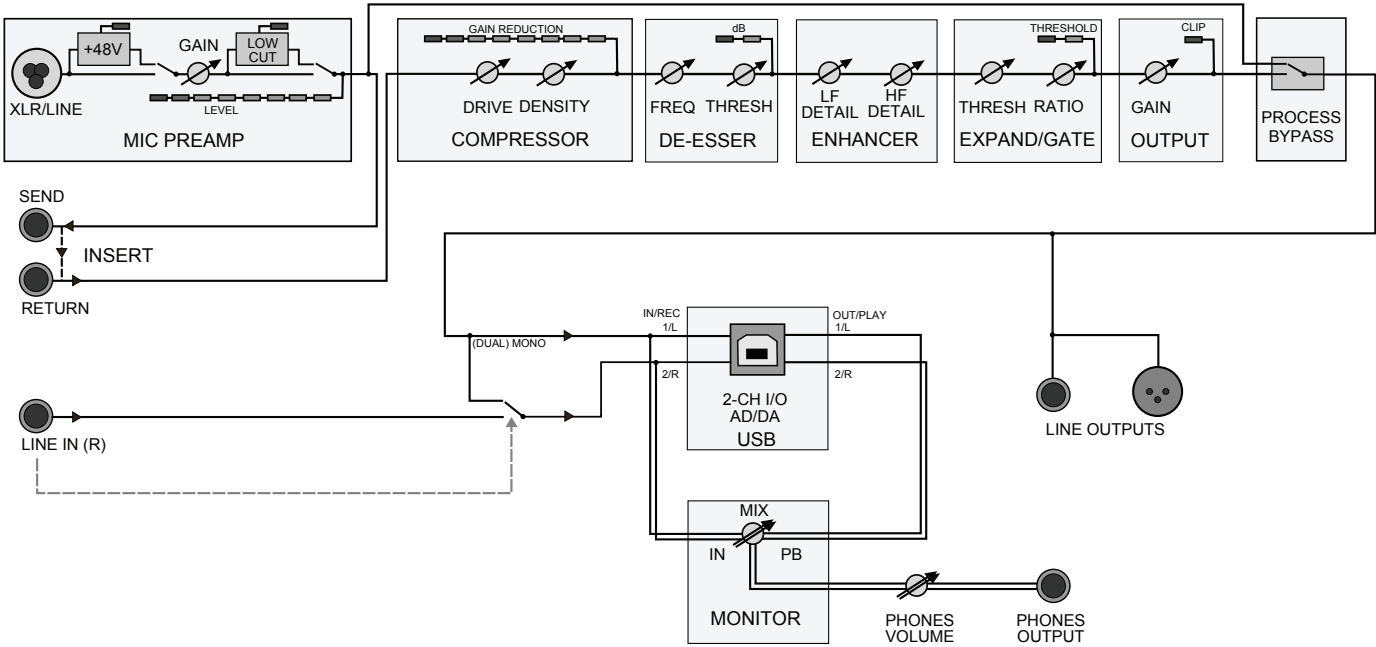
### 基本操作

- ① 接続例の章を参照し、必要なオーディオおよび電源接続をすべておこないます。
- ② MONITOR LEVEL (モニターレベル) ノブおよび OUTPUT GAIN (出力ゲイン) ノブの位置を最小値にします。
- ③ コンデンサーマイクロフォンを接続している場合は、48V ファンタム電源ボタンを有効にします。
- ④ PROCESS BYPASS (プロセスバイパス) ボタンを有効にし、まずは未処理のマイクロフォン信号を確認します。
- ⑤ ヘッドフォンを装着し、ボーカル信号をモニターします。
- ⑥ 実際に録音する時の声量で、接続したマイクロフォンに向かって歌い、レベルメーターを確認しながらプリアンプ部の GAIN ノブを上げていきます。声が最大レベルの時に、+12 dB LED が瞬間的に点灯する程度にノブを設定します。
- ⑦ COMPRESSOR、DE-ESSER、ENHANCER および EXPANDER/GATE 部のノブをすべて反時計回り方向いっぱいまで下げます。
- ⑧ OUTPUT GAIN (出力ゲイン) ノブを回して 0 dB に設定します。
- ⑨ MIX ノブを反時計回り方向いっぱいに回します。
- ⑩ マイクロフォンに向かって歌いながら、MONITOR LEVEL ノブを調節し、ちょうど良いリスニング音量に設定します。
- ⑪ PROCESS BYPASS ボタンを解除し、サウンドシェイピング部を有効化します。
- ⑫ COMPRESSOR DRIVE (コンプレッサードライブ) ノブを回してコンプレッションを任意の量に調節します。このノブの設定を上げると全体の音量レベルが上がりますので、OUTPUT GAIN ノブで調節してください。GAIN REDUCTION (ゲインリダクション) メーターを確認しながら、信号に適用するコンプレッションの量を決定します。ボーカルアプリケーションでは通常 6 ~ 9 dB のリダクションが適切でしょう。
- ⑬ COMPRESSOR DENSITY (コンプレッサーデンシティ) ノブで、コンプレッサーのリリースタイムを設定します。ボーカルの場合、低めに設定します。
- ⑭ 歯擦音が気になる場合は、DE-ESSER FREQUENCY (ディエッサー周波数) を 4-8 kHz に設定し、サ行の音がまるやかになるまで、DE-ESSER THRESHOLD (ディエッサースレッシュホールド) を上げます。
- ⑮ HF DETAIL (HF ディテール) を使用して信号の高域にハリを出したり、LF DETAIL (LF ディテール) を使用して低域にパンチと明確さを付加します。
- ⑯ 意図せぬバックグラウンドノイズをミュートする際は、EXP/GATE RATIO (EXP /ゲート比率) ノブの位置を中央の 2:1 に合わせ、EXP/GATE THRESHOLD (EXP /ゲートスレッシュホールド) ノブを、ささやいた時に、赤色 LED が消えて緑色 LED が点灯するまで上げます。

### USB / レコーディング セットアップ

- ① Windows PC を録音に使用する場合、USB ドライバーを Behringer.com の製品ページよりダウンロードしてください。Mac コンピューターではドライバーのインストールは必要ありません。
- ② コンピューターからの USB ケーブルを 背面パネルの USB ポートに接続します。
- ③ DAW / レコーディングソフトウェアを開き、入力 / 出力機器として UV2860 を選択してください。
- ④ レコーディング中、録音に使用しているチャンネルは、プレイバック信号に混ざらないようにミュートしてください。
- ⑤ MIX ノブで、ボーカルのダイレクト音と、ご使用のソフトウェアのオーディオプレイバックとのバランスを調節します。
- ⑥ 純粋なマイクプリアンプの信号を録音する場合は、PROCESS BYPASS (プロセスバイパス) ボタンを押します。DAW エフェクトプラグインを使用してボーカルレコーディングを編集する際には、この設定がおすすめです。
- ⑦ 2チャンネルレコーディングは、背面パネルの LINE IN (ライン入力) ジャックと、前面の入力端子との併用により可能です。ただし LINE IN ジャックにはレベルコントロールがないため、音量不足やクリッピングを防ぐためには、接続した機器の側で音量を調節する必要があります。

UV1  
Simplified Block Diagram





# 技術仕様

入力	
マイク入力	ディスクリートマイクプリアンプ
タイプ	バランス XLR / TRS コンポコネクター
インピーダンス	4 kΩ
最大入力レベル	+17 dBu
等価入力ノイズ (EIN)	-126 dBu、20 Hz-20 kHz、150 Ω
ラインイン	¼" TRS、バランス
インピーダンス	10 kΩ 不平衡、20 kΩ 平衡
最大入力レベル	30 dBu
リターンを挿入	¼" TRS、バランス
インピーダンス	5 kΩ
最大入力レベル	+21 dBu
出力	
ラインアウト	バランス XLR, ¼" TRS
インピーダンス	100 Ω 不平衡、200 Ω 平衡
最大出力レベル	+20 dBu
挿入送信	¼" TRS、バランス
インピーダンス	100 Ω 不平衡
最大出力レベル	+20 dBu
電話をかける	¼" TRS ステレオ、アンバランス
インピーダンス	50 Ω
最大出力レベル	+9.5 dBu @ 32 Ω (180 mW) +19 dBu @ 250 Ω (200 mW) +20 dBu @ 600 Ω (100 mW)
コントロール	
マイクプリアンプ	
利得	マイク: 0 ～ + 60 dB、ライン: -15 ～ + 45 dB
48 V	+48 V ファンタム電源、切り替え可能
ローカット	-18 dB / oct @ 80 Hz
コンプレッサー	
ドライブ	しきい値、-40 dB ～ + 20 dB
密度	1 ～ 75 dB/sec
デエッサー	
周波数	800 Hz ～ 10 kHz
しきい値	プログラムに依存
リリース時間	プログラムに依存、約。1 ミリ秒 / dB
エンハンサー	
LF / HF の詳細	最小から最大のブースト (0 dB から+ 12 dB)
エキスパンダー/ゲート	
しきい値	+ 15 dB までオフ
比	1: 1 から 10: 1
出力	
出力ゲイン	-30 ～ + 10 dB
モニター	
ミックス	直接信号と再生をブレンドする
レベル	-∞ ～ + 6 dB

システム	
周波数応答	<10 Hz ～ 80 kHz (0 / -3 dB)
ダイナミックレンジ	110 dB、A 加重
USB	
タイプ	USB 2.0、タイプ B
インターフェース	2 イン / 2 アウト
コンバータ	24 ビット
サンプリングレート	44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz
サポートされているオペレーティングシステム	Windows 10 / Mac OS X10.4 以降
運転手	behringer.com で入手可能な Windows ドライバー、Mac にはドライバーは必要ありません
力	
スイッチモードオートレンジ電源	100 ～ 240 V、約50/60 Hz
消費電力	15 W
主電源接続	標準 IEC コネクタ
物理的	
標準動作温度範囲	5°C – 45°C (41°F – 113°F)
寸法	483 x 150 x 44 mm (19 x 5.9 x 1.7")
重量	1.5 kg (3.3 lbs)

# その他の重要な情報

JP

## その他の重要な情報

1. **ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**  
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
2. **故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにいるときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
3. **電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

JP

We Hear You